

# 交差点105号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会  
令和6年3月

わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり

内閣総理大臣賞

交差点 自分を守ろう 周り見て

全日本交通安全協会会長賞

「令和6年使用交通安全年間スローガン」（全日本交通安全協会・毎日新聞社）【こども部門】より

## 春の交通安全について保護者の皆さまへ

待ち遠しかった春の訪れとともに、子どもたちが期待に胸を膨らませる新入学（園）・新学期がやってきます。

屋外で活動する機会も増える季節となりますが、雪解けに伴って車のスピードも出やすくなり、子どもたちが交通事故に遭う危険性が高まる時期でもあります。

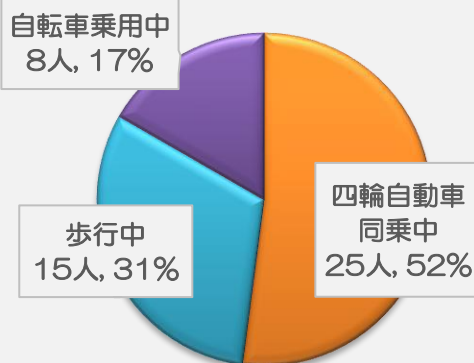
令和5年中の札幌市内における中学生以下の子どもの交通事故死傷者数は236人。3月から5月にかけての期間には、48人が交通事故により負傷しています。

子どもたちが元気で新学期を迎えることができるよう、ぜひ春休み期間中にご家庭で交通安全について話し合い、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

### 札幌市内における中学生以下の交通事故実態

令和5年1月～12月の死者数	0人（前年比：－1人）
負傷者数	236人（前年比：+52人）
春期間（令和5年3月～5月）の死者数	0人（前年比：－1人）
負傷者数	48人（前年比：+6人）

### 中学生以下の状態別負傷者数（令和5年3月～5月）



※グラフ中の%は小数点以下を四捨五入しています。

春の交通事故を状態別で見ると、四輪自動車同乗中の負傷者が25人と、全体の約半数を占めました。交通事故から身を守るため、自動車に乗る際は、シートベルトの全席着用を徹底しましょう。

また、歩行中や自転車乗車中の事故を防ぐため、道路を渡るときは必ず横断歩道を渡り、車が来ていないか安全確認をしっかりと行いましょう。自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。



# 交通安全指導のポイント

- 車の前に飛び出さない、道路や道路のそばで遊ばないように指導しましょう。
- 自転車は車と同じ「車両」です。ルールを守って安全に利用しないと大きな事故につながることをしっかりと伝えましょう。
- 道路を渡るときは必ず横断歩道を渡ること、周囲をよく確かめることなどを一緒に確認しておきましょう。



## 自転車の安全な利用について確認しておきましょう



- ★ 歩道は歩行者が優先です。  
自転車はスピードを落として、歩行者の安全を守りましょう。
- ★ 交差点では信号と一時停止を守って、しっかり安全確認しましょう。
- ★ 暗くなってきたらライトを点灯しましょう。
- ★ ヘルメットを着用しましょう。
- ★ もしものときに備えて、自転車保険に加入しましょう。



## ＊＊ぜひご活用ください＊＊



札幌市交通安全運動推進委員会では、毎年市内の学校へランドセルカバーや交通安全啓発冊子をお送りしています。

ランドセルカバー、黄色いワッペン（保険付）、冊子「まもろうね!! 一年生」は新入学児童分を小学校へ、冊子「セーフティ自転車ライダーのススメ!」は全生徒分を中学校・高校へ配布しています。



## ＊ ＊ ＊ 交通事故にあわないために ＊ ＊ ＊

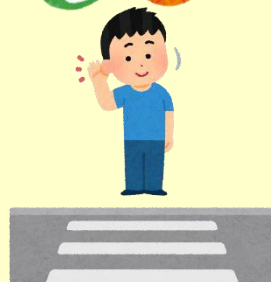
どうろをわたるまえに



くるまがこないか



くるまのおとを



くるまがとおりすぎるまで

